



結果ニ付テ簡單ニ御報告申上ゲマス、委員會ハ九月二十一日委員長及ビ理事ノ互選ヲ致シマシテ、引續キ會議ヲ開キ、政府カラ提案理由ノ説明ヲ聴取致シマシタ、是等ノ議案ニ付キマシテハ、既ニ大藏大臣ヨリ本議場ニ於テ説明セラレタコトデアリマスカラ、此處デハ其ノ概要ヲ申上ゲマス、即チ昭和十九年度ニ於キマシテハ、第一豫備金及ビ豫備費ヨリ支出セラレマシタ金額ハ、三億八千六百八十餘萬圓、第二豫備金ヨリ支出セラレマシタ金額ハ、五千五百萬圓、計四億四千一百八十餘萬圓デアリマス、昭和二十年度ニ於キマシテハ、第二豫備金及ビ豫備費外支出セラレマシタ金額ハ、四十八億二千四百四十餘萬圓デアリマシテ、其ノ内一般會計ノ第二豫備金ヨリ支出セラレマシタ金額ハ、二十億圓デアリマシテ、終戦前ニ支出致サレマシタ金額ハ、十億三千八百五十萬圓、終戦後支出致サレマシタ金額ハ、尙九億六千四百四十餘萬圓デアリマス、尙緊急財政處分ニ依リ支出セラレマシタ金額ハ、四十三億七千五百八十餘萬圓デアリマシテ、全額終戦後ノ支出ニ係ルモノデアリマス、昭和二十年度ニ於テ支出セラレマシタ金額ハ、總計九十一億九千七百三十餘萬圓デアリマス、次ニ昭和二十一年度ニ於キマシテハ、第二豫備金ヨリ二十億圓、緊急財政處分第一豫備金ヨリ四億圓、緊急財政處分ニ依リ二十一億二千三百萬圓、計四十五億二千三百萬圓ヲ支出セラレマシタモノデ、今回事後承諾ヲ求メラレテ居リマス金額ノ合計ハ、四百四十一億二千二百餘萬圓トナツテ居リマス、以上ガ是等ノ諸案ノ概要デアリマスガ、年度別ニ此ノ金額ノ内、重要モノヲ申上ゲテ見マス、昭和十九年度第一豫備金支出ノ件ハ、

支出致シマシタモノハ、一億三千餘萬圓デアリマスガ、其ノ内一千萬圓以上ノ支出ニナツテ居リマスモノガ、内務省所管、大藏省所管、警察費連帶支辨金、徴兵旅費、大藏省所管、是ハ諸拂戻金、厚生省ノ所管ハ軍事扶助費、戰時災害保護費、大東亞省所管、戰時事變臨時手當等デアリマス、次ニ昭和十九年度特別會計第一豫備金支出ニ於キマシテハ、一千萬圓以上ノ支出ニナツテ居リマスモノハ、大藏省所管、損害保險國營再保險金、農商省所管、農業再保險金等デアリマス、昭和十九年度特別會計豫備費支出ニ於キマシテハ、一千萬圓以上ノモノハ、運輸省所管、事業費用品資金補足金デアリマス、昭和十九年度特別會計第二豫備金支出ニ於キマシテハ、一千萬圓以上ノ支出ニ居リモノガ、運輸省所管ノ用品資金補足金デアリマス、昭和二十年度第二豫備金支出ニ於キマシテハ、一件一億圓以上ノモノハ、内務省所管、防空緊急施設諸費、大藏省所管、鹽及樟腦緊急増産對策費、農林省所管、食糧増産對策諸費、林產物生産緊急施設費、食糧増産應急諸費等デアリマス、昭和二十年度豫備金外ノ支出ニ於キマシテハ、一件一千萬圓以上ノモノハ、内務省所管、大藏省所管、司法省所管、文部省所管、厚生省所管ノ政府ノ職員臨時給與金デアリマス、内務省所管、北海道臨時國有林増伐諸費、大藏省所管、財産稅等創設準備諸費、農林省所管、價格調整補助金等デアリマス、昭和二十年度特別會計第二豫備金支出ニ於キマシテハ、一件千餘萬圓以上ノモノハ、外務省所管、朝鮮總督府ニ於ケル防衛對策諸費、運輸省所管、用品資金緊急補足外四件デアリマス、昭和二十年度特別會計豫備金外ノ支出ニ於

キマシテハ、一件一億圓以上ノモノハ、大藏省所管、業務勸定、農林省所管ノ薪炭供給調節費、運輸省所管、用品資金緊急補足、用品及工作費補足、事業費デゴザイマス、昭和二十年度ノ緊急財政處分ニ依リ支出ニ於キマシテハ、一件一億圓以上ノモノハ、勅令第百二十七號ニ依ルモノガ大藏省所管、内地ヘ引揚邦人及ビ内地ヨリノ引揚ゲル者ニ對シテ諸般ノ對策緊急諸費、運輸省所管、船舶運賃會損失補償及補助金、復員諸費、勅令第百五十九號ニ依ルモノガ、内務省所管、河川災害復舊費、地方職員臨時給與補助金、文部省所管、國民學校及青年學校教員臨時給與補助金、商工省所管、價格調整補助金、運輸省ノ所管、船舶運賃會損失補償及補助金、勅令第百七十九號ニ依リマスモノガ、内務省所管、都市ノ陳開事業費補助金、地方職員臨時給與補助金デアリマス、昭和二十一年度第二豫備金支出ニ於キマシテハ、一件一億圓以上ノモノハ、外務省所管、外地職員其ノ他歸還ノ諸費、大藏省所管、終戦處理費、復員諸費、厚生省所管、救濟福祉事業費補助金、農林省所管、蔬菜價格調整補助金、商工省所管、石炭價格調整補助金等デアリマス、昭和二十一年度緊急財政處分ニ依リ支出ニ於キマシテハ、一件一億圓以上ノモノハ、大藏省所管、復員諸費、終戦處理費、商工省所管、石炭價格調整補助金、運輸省所管、歸還輸送費、船舶運賃會補助金等デアリマス、昭和二十一年度緊急對策費第一豫備金支出ニ於キマシテハ、厚生省ノ所管、戰時災害保護費デアリマス、其ノ後之ニ付キマシテ政府當局トノ間ニ熱心且有益ナ實應答ガ行ハレマシタガ、是等ノ點ハ速記録ニ依リマシテ御

覽ヲ願ヒタイノデゴザイマスガ、其ノ中二三ノ質問ヲ御紹介致シマス、自給鹽ノ保護ニ付テハ補助金ニ付テ質問ガアリマシタ、政府ハ戰時中カラ鹽不足ニ付テ、製鹽ニ對シ補助金ヲ支出シテ居ツタガ、元來我が國ノ製鹽費ハ非常ニ高價デアルカラ、今日ニ於テハ我が國ノ食料鹽年額八十萬トンヲ製造スル設備ニ止メテ、其ノ他ノ工業鹽ハ廉價ナル輸入鹽ニ俟ツ方針ヲ致シマシタ、從ツテ現在ノ設備ト將來、來春迄ニ完成ニ近イ設備トヲ以テスレバ、其ノ八十萬トンノ生産ノ目的ニハ適應スルカラ、是等ニ對シテハ補助金ハ出スガ、其ノ他ニ對シテハ補助金ヲ打切ニスル方針ヲ云フ答辭デアリマシタ、次ニ陸海軍病院ノコトデアリマシタガ、現存ノモノハ厚生省所管ニ移ツテ國立病院トナツテ居ツテ、現在ノ收容患者ハ主ニ傷痍軍人デアルケレドモ、將來ハ施設上餘裕ガ出來レバ一般ニ使用サレ方針デアルモ、時期ニ付テハ厚生省デ考慮中ダ、尙未完成ノモノガ澤山アルガ、之ヲ病院トスルカ、外ニ使用スルカノ利用法ニ付テハ今尙研究中ダト云ツテ居リマス、ソレカラ未利用資源ノ食糧化ニ付テ質問ガアリマシタガ、昨年ノ後半期ハ主食糧ノ確保ニ付テ全然見透シガ付カナカツタ爲ニ、補充トシテ米ニ換算シテ約百五十萬石ヲ豫想シテ其ノ生産ヲ獎勵シタケレドモ、實際ニハ十萬石程度ノ收穫ニ過ギナカツタ、固ヨリ未利用資源ノ製品ト云フモノハ榮養價值ニ於テハ主食トシテノ目的ニ適シナイモノデアアルカラ、今日ニ於テハ是等ノ製品ハ今後主食代用トシテハ配給ヲシナイト云フコトヲ言ツテ居リマス、ソレカラ國民學校ノ復舊ニ關シテハ質問ガゴザイマ

シタガ、國民學校復舊ト云フモノハ、大問題トシテ議論サレテ居ルガ、今日ノ狀態デハ、文部省ハ勿論、大藏省方面ニ於テモ決シテ満足シテ居ル譯デハナイガ、從來公共團體ニ對シテ利子ノミヲ負擔シテ來タガ、復舊費ノ半分ハ、國庫ヨリ負擔シ、經濟安定費カラ一億餘圓ヲ支出スルコトニナツテ居ルケレドモ、其ノ結果ニ依ツテハ、尙増額スル考デアル、資材等モ優先的ニ配給シテ居ルガ、校舍ノ建築ハ先ヅ鐵筋「コンクリート」ヲ理想トシテ居ルデアルケレドモ、現在ノ狀態ニ於テハ「パルク」式デ三箇年位ハ我慢ヲシテ貰ツテ、其ノ後ノ五箇年位ノ間ニ理想のモノニ復舊シタイト云フ考デアル、ソレカラ地方稅務署ノ事務ニ付テハ誤謬ガアツタリ、誠ニ取扱ヒガ杜撰ダト云フコトニ對スル御質問ガアリマシタガ、我が國ノ徵稅ニ付テハ、凡ソ十五年前迄ハ其ノ正確ニ自信ガアツタケレドモ、段々財政ノ膨脹ニ從ヒ、現在民間ノ取扱ヒニ對シテハ、普通稅務一萬人、財産稅一六千人ガ從事シテ居ルケレドモ、稅務署モ亦三百八十有餘ヲ算スルニ至ツタガ、其ノ從事員モ從ツテ新任ノ者ガ多ク、其ノ事務上ニ付遺憾ノ點ガ多イノハ恐縮デアル、故ニ政府ニ於テモ本年度豫算ニ計上シ、稅務講習所ノ内容ヲ整備スルコトニナツテ居ル、其ノ他「アルコール」製造ニ關シ、卷煙草拂底ニ關シ、農產物加工施設ニ關シ、一般官吏ニ對スル臨時家族手当ニ關シ、私立學校ニ對シ補助、低利資金融通等ノ對策ニ關シ、米補給金ニ關シ、色々ノ質問應答ガアリマシタガ、是ハ速記録デ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、次デ討論ニ入りマシテ、昭和十九年度第一豫備金支出ノ件外事後承諾ヲ

求ムルノ件十一件共満場一致ニテ之ニ承諾ヲ與フベキモノト決定致シマシタ、右御報告申上ゲマス

○議長(公卿徳川家正君) 別ニ御發言モナケレバ、是ヨリ採決ヲ致シマス、十二件共委員長ノ報告通り、承諾ヲ與フルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公卿徳川家正君) 日程第十三、臨時物資需給調整法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長古市男爵

臨時物資需給調整法案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二十一年九月二十六日  
委員長 男爵古市 六三  
貴族院議長公卿徳川家正殿

〔男爵古市六三君登壇〕

○男爵古市六三君 只今上程ニ相成リマシタ、臨時物資需給調整法案ノ特別委員會ノ審議ノ經過並ニ結果ニ付テ御報告ヲ申上ゲマス、本委員會ハ去ル二十三日、二十五日及び昨日二十六日ニ開キマシテ、最初ニ商工大臣カラ提案ノ理由ヲ伺ヒ、續イテ逐條ニ互ツテ商務局長ノ説明ヲ煩シマシタ、即チ本法案ハ我が國産業ノ現狀ニ於テ、戰災ニ依ル工場設備ノ甚大ナル被害、各種設備ノ老朽荒廢、原料資材ノ不足、物價ノ昂騰、終戰ニ伴フ産業秩序ノ混亂、勞働爭議ニ依ル不安等ニ依リ、其ノ回復ニ對シテ満足スベキ狀態デアリマセヌノデ、基礎原料タル石炭、基礎資材タル鐵鋼ノ極度ノ逼迫ガ他ノ工業ノ生産力ノ

回復ニ影響ヲ致シ、又國民生活ハ終戰後益々困難ノ度ヲ加ヘテ來マスノデ、之ヲ救フ爲ニモ必需物資ノ適正ナル配分ノ確保ヲ圖ラナケレバナラナイノデアリマス、ソコデ各種産業ノ基礎資材、見返リ物資、食糧其ノ他民生安定ノ爲ノ物ニ對シ重點的ナ計畫生産ヲ實施シテ、其ノ合理的ナ配分ヲ行ハナケレバナラヌノデ、各種ノ施策ヲ法的ナ裏附ケテ臨機應變ニ實施スルト云フノガ本法案ノ目的デアアルノデアリマス、本法案ノ實體ノ規定ハ、

第一條及ビ第二條ノ二ツニ過ギマセヌ、第一條デ、各省大臣ノ爲シ得ル權限範圍ヲ規定シテ此ノ法律ノ一番ノ基本ヲ示シ、物資ノ流レ方ヲ確定スルノヲ大キナ目的トシ、配給ノ「ルート」ヲ確定スルノガ大キナ仕事デアアルノデアリマス、必要ナ命令ハ經濟安定本部總裁ノ定メタ方策ニ基クコトノ絕對要件ヲ附シ、經濟民主化ノ理念ニ一貫シテ、經濟安定本部ニハ、經濟界、學界カラ現職ノ僑部長、部員ヲ採用スルコトトシテ、尙經濟界、政界、勞働界關係ノ各省ノ權威者カラ成ル經濟安定會議ニ依ツテ事務ヲ決スルヤウニナツテ居ルノデアリマス、原材料、資材ハ民間ノ創意ト經驗トヲ尊重シ、民主的ニ組織セラレタ産業團體等ノ活用ニ努メマシテ、ソレニ當該産業ノ運営ニ必要ナ物資ノ割當ヲ實施サセル方針ヲ明カニ致シ、政府ハ此ノ團體ニ對シマシテ、無用ノ干渉ヲシナイヤウニ特ニ留意ヲ致シテ居ルトノコトデアリマス、結局問題ハ法文ノ體裁ガ簡單デ、包括的ナ委任立法トナル爲ニ、主務大臣ノ權限ガ廣範ニナリ、如何ナル内容ノ統制ヲ實施スルカガ不明デアアルノト、經濟安定本部ト主務大臣トノ關係ヲ如何ニ調

整スルカニ問題ガアリマシテ、遂ニ衆議院ガ次々七ツノ點ヲ修正スルコトニナツタデアリマス、第一點ハ、第一條ノ主務大臣ノ命令權ノ行使ハ、經濟安定本部總裁ノ同意ヲ得ルヲ要スルコトト致シ、主務大臣ノ勝手ナ命令ノ發動ヲ抑制シ、各省間ノ施策ノ綜合調整ヲ圖ルト共ニ、安定本部ノ經濟安定會議ノ運用ニ依ツテ其ノ民主的ナ運用ヲ圖ラウトシタコトデアリマス、第二點ハ、命令ノ發動ニ當リマシテ、官吏ノ勝手ナ處置ヲ防止スル爲ニ、同一條件ニアルモノニハ差別ナク適用サレルモノトシタコトデアリマス、其ノ第三點ハ、第一條ノ命令事項ニ付テ、物資ノ使用制限又ハ禁止ニ付新タニ一號ヲ設ケマシテ、生産命令ノ項ニ出荷命令ヲ加ヘテ、更ニ必要最限度ニ發動シ得ルヤウニ、二號乃至四號ノ事項ハ、供給ノ不足スル物資ニ限リ適用スルコトトシマシテ、設備ノ讓渡、引渡又ハ貸與ハ、遊休設備ニノミ限定シタコトデアリマス、第四點ハ、損失補償ヲ行フベキ事項ハ、第三號ノ事項、即チ生産、出荷命令及ビ工事命令ニ付テハ、補償ノ範圍ヲ積極命令ノミニ限定ヲ致シマシテ、消極命令ニ付テハ補償ヲ行ハヌヤウニ致シマシタ、第五點ハ、第二條ノ産業團體ノ物資割當ニ對スル不服申立ハ、主務大臣ノ決定ヲ仰グト云フノヲ改メマシテ、不服申立人、産業團體及ビ第三者ヨリ成ル委員會ノ決定ニ依ルコトト致シマシタ、第六點ハ、第三條ノ臨檢、檢査ノ政府ノ權限ガ廣過ギルノヲ制限シタコトデアリマス、最後ニ第七點ハ、本法ノ存續期間ガ經濟安定本部ノ廢止ノ時トナツテ居ルノヲ、經濟安定本部ノ廢止ノ時カ、本法施行後一箇年午後昭和二十三年四月

一日カ、孰レカ早イ時ニ效力ヲ失フコトニナツテ居ルデアリマス、何分新日本ノ力強イ發足ニ重大ナル關係ヲ持チマス重要ナル法案デアリマスルノデ、熱心ナル質疑、政府ニ對スル注意、勸告、希望ガ委員ヨリアリマシタガ、是カラソレ等ニ付キマシテ御紹介ヲ致シマス、一委員ヨリ、總動員法ハ生産ノ有ラユル要素ヲ取扱ツタガ、此ノ法案ハ物資面ノミデ他ノ勞務、金融、輸送等ヲ考ヘテ居ラナイガ、ソレデヤツテ行ケルノカ、之ニ對シマシテ、物資ノミニ限ル本法案ハ不十分デア

ル、融資ハ復興金融庫カラ、其ノ運用ハ協議會デ重點的ニヤルコトトシ、輸送ハ特別ノ法律ガナクモ運輸省デ其ノヤリ方ニ依ツテ圓滑ニヤツテ行ケルノデ、資材ノ重點的ノ配給ヲシ、資金ノ裏附ヲスレバ、生産ハヤレルト思ハレルトノコトデアリマシタ、又勞働者ニハ餘裕ガアルト云フガ、戰時中ノヤウニ頭數ノ問題デハナイ、生産指示ヲシタ時ニ、政府ハ積極的態度ヲ以テ就業セシムルコトガ出來ナイト思フ、從ツテ業者ハ其ノ生産ガ出來ナイコトニナリハシナイカト云フ間一對シマシテ、勞務ニ強制法規ガナイノデ其ノ憂ハアルガ、肥料問題ノアツタ時ニ、勞働組合ノ方ニ懇請シテウマクヤレタ例ガアルト云フ説明ガゴザイマシタ、次ニ見返リ品ノ生産ハ中小工業者ガヤルコトト思フガ、地域的ニモ、又銘柄ニ付テモ複合生産ガ多クナリ、經營規模ガ小サクナル、從ツテ問屋ノ必要ガ超

ルト思フガ、今迄ノ統制ノ缺陷ノ最大ノモノハ、商業機構ヲ輕視シタ點デア

ルト思フ、其ノ結果「メーカ」ガ能率ヨク良イ物ヲ造ル方向ニ向ハナカツタト思フ、此ノ法律ノ中ノ産業團體ニ商

業のナモノガ含マレテ居ルカト云フコトニ對シマシテ、産業團體トハ割當ヲスル機關デ、配給會社ガ問屋デア

ル、配給協議會ニハ一部問屋の方面ガ活カシテアル、今後ノ統制ト今迄ノソレトノ違ヒハ何處ニアルノカ、今迄ハ切羽詰ツタ統制デアレドモ、今後ハ其ノ目的達成ノ爲ニヤルト云フ公開サレタ明朗ナ統制ニナルト思フデアリマス、ソノコトデアリマス、本法ノ如キ形ノ統制ハ中央集權化ヲ強化セシメヤセヌカト云フ間ニ對シマシテハ、本法ニ採リ上ゲルモノハ全國的ニ統制スルモノデ、其ノ他ハ自主統制、地方統制ニ任セテ行クデアアル、尙一委員ヨリ、

政府ハ乏シキ物資ノ割當ニ力ヲ入レルヨリモ、増産第一ノ方ガ宜クハナイカト云フ間ニ對シマシテ、政府ハ、誠ニ其ノ通りデアリマスガ、何分物資ガ少イノデ自由開放ハ到底出來マセヌ、本來本法モ増産ノ爲ノモノデアリマス、ト答辯ガアリマシタ、産業界ガ金融界ニ壓迫セラレル傾向ガアルガ、サウ云フコトノナイヤウニ努力セラレタイト云フ希望ニ對シマシテ、商工大臣ハ、從來其ノヤウナ傾向ガナカツタ譯デハナイガ、將來ハ其ノヤウナコトノナイヤウニ十分努力ヲシ、復興金融庫ニシテモ飽ク迄産業再建ノ爲ニ役立テル積リデア

ル、尙委員ヨリ、現在ノ賃銀ガ生活給ニナツテ居レドモ能率給ニシナクテハナラヌト云フコトニ對シマシテ、大臣ハ、此ノ點ハ、日下鋭意研究中デアルトノ答辯ガアリマシタ、又鋼材ノ輸入ハ切實ニ要スルコトト思フガ、鋼材ヲ得ルニ鐵礦石ト石灰トヲ輸入スルカ、銑鐵ヲ入レルカ、或ハ直接鋼材ヲ入レルカノ三方法ガアルガ、最後ノ第三ノ方法ハ、米國ニ於テモ現在鋼材不十分ノ

業のナモノガ含マレテ居ルカト云フコトニ對シマシテ、産業團體トハ割當ヲスル機關デ、配給會社ガ問屋デア

ル、配給協議會ニハ一部問屋の方面ガ活カシテアル、今後ノ統制ト今迄ノソレトノ違ヒハ何處ニアルノカ、今迄ハ切羽詰ツタ統制デアレドモ、今後ハ其ノ目的達成ノ爲ニヤルト云フ公開サレタ明朗ナ統制ニナルト思フデアリマス、ソノコトデアリマス、本法ノ如キ形ノ統制ハ中央集權化ヲ強化セシメヤセヌカト云フ間ニ對シマシテハ、本法ニ採リ上ゲルモノハ全國的ニ統制スルモノデ、其ノ他ハ自主統制、地方統制ニ任セテ行クデアアル、尙一委員ヨリ、

政府ハ乏シキ物資ノ割當ニ力ヲ入レルヨリモ、増産第一ノ方ガ宜クハナイカト云フ間ニ對シマシテ、政府ハ、誠ニ其ノ通りデアリマスガ、何分物資ガ少イノデ自由開放ハ到底出來マセヌ、本來本法モ増産ノ爲ノモノデアリマス、ト答辯ガアリマシタ、産業界ガ金融界ニ壓迫セラレル傾向ガアルガ、サウ云フコトノナイヤウニ努力セラレタイト云フ希望ニ對シマシテ、商工大臣ハ、從來其ノヤウナ傾向ガナカツタ譯デハナイガ、將來ハ其ノヤウナコトノナイヤウニ十分努力ヲシ、復興金融庫ニシテモ飽ク迄産業再建ノ爲ニ役立テル積リデア

ル、尙委員ヨリ、現在ノ賃銀ガ生活給ニナツテ居レドモ能率給ニシナクテハナラヌト云フコトニ對シマシテ、大臣ハ、此ノ點ハ、日下鋭意研究中デアルトノ答辯ガアリマシタ、又鋼材ノ輸入ハ切實ニ要スルコトト思フガ、鋼材ヲ得ルニ鐵礦石ト石灰トヲ輸入スルカ、銑鐵ヲ入レルカ、或ハ直接鋼材ヲ入レルカノ三方法ガアルガ、最後ノ第三ノ方法ハ、米國ニ於テモ現在鋼材不十分ノ

業のナモノガ含マレテ居ルカト云フコトニ對シマシテ、産業團體トハ割當ヲスル機關デ、配給會社ガ問屋デア

ル、配給協議會ニハ一部問屋の方面ガ活カシテアル、今後ノ統制ト今迄ノソレトノ違ヒハ何處ニアルノカ、今迄ハ切羽詰ツタ統制デアレドモ、今後ハ其ノ目的達成ノ爲ニヤルト云フ公開サレタ明朗ナ統制ニナルト思フデアリマス、ソノコトデアリマス、本法ノ如キ形ノ統制ハ中央集權化ヲ強化セシメヤセヌカト云フ間ニ對シマシテハ、本法ニ採リ上ゲルモノハ全國的ニ統制スルモノデ、其ノ他ハ自主統制、地方統制ニ任セテ行クデアアル、尙一委員ヨリ、

コトデアルカラ到底望ミハナク、第一ノハ船腹ガ間ニ合ハナイ、第二ノデアリマス、船腹ハ第一ノ場合ノ半分位デ済ムガ、失業ガ増シ、且第一ノ特點デアル副産物ガ得ラレナイ、當局トシテハ其ノ執レニ依ラル、方針デアルカトノ間ニ對シマシテ、對日理事會デハ、鉄鐵二百萬トン、銅塊三百五十萬「トン」ト決定シタガ、能力ハ各、七十萬「トン」乃至八十萬「トン」ヨリハナイ、不足分ニ對シテハ銑鋼一貫作業デヤリ、燃料ハ壓延用ノ石炭ヲ用ヒ、代用品トシテ重油ノ輸入ヲ懇請シテ居ルトノコトデアリマス、更ニ一委員ヨリ、木材ノ需給ハ如何、元來地木ノ統制ハ宜クナカッタガ、今後ハドンナ統制ヲスルカトノ間ニ對シマシテ、日本地木ニ對シ、之ニ代ルニ日本林業會ヲ、其ノ下部機關トシテ都道府縣林業會、其ノ下部ニ森林組合聯合會、林業組合ガ出來ルコトニナツテ居リマス、本年度ノ生産ノ目標ハ七千五百萬石、第一四半期ノ實績ハ前年同期ノ七割四分デ千四百萬石、此ノ七月以降ハ食糧ノ不足デ下向トナリマシタガ、六千五百萬石ハ確保ガ出來ル見込デアルトノコトデアリマス、又木材ノ需要ハ賠償物資ノ梱包材、復興用、進駐軍兵舍用等デ、梱包用ハ二箇年間ニ千六

百萬石、復興用ノモノハ既ニ七割二分ハ出シテ、年度未迄ニハ完納スル見込デアリマス、兵舍用ノモノハ九月末ニハ完納スル、又輸入材ハ年末迄ニ十五萬石入り、明年ハ二千萬石ヲ懇請シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトデアリマス、次ニ九公ヲ維持シテ行ク覺悟如何ト云フ問題ニ對シマシテ、膳國務大臣ハ、終戰直後ノ政府ノ價格ハ宜イトハ思ハナイ、主要食糧不足ノ爲買漁リデ價格體系ガ亂レテシマヒ、物價安定ノ要訣ハ、將來ノ經濟不安ヲ一掃スルコトニアルノデ、安定本部トシテハ安定シタ物價ヲ作り、物資ノ出廻リヲ良クスルヤウニシタイ、主要食糧品ハ確保出來ル見込デアアルカラ、ソレニ準ジテ物資ノ供出、配給ヲ圓滑ニシテ行キタイトノコトデアリマシタ、又稅ガ高ク、生産意欲ヲ阻害シテ居ルト云フコトニ對シマシテ、商工大臣ハ、物資ノ豐富ナ場合自由競争ニ依ル所ノ生産意欲ハ良イガ、又ソレガ自由經濟ノ建前デアアルノデ、現在ノヤウナ窮屈ナ場合ハ、一ツノ過渡期トシテ已ムヲ得ナイコトト思ハレルト云フコトデアリマシタ、鹽ノ増産ハ實ニ重要デ、又加里鹽、硼酸、硼砂等モ同様デアアルガ、是等ニ對シテハドウスルカト云フノニ對シ、鹽ハ現在モ不足デ僅カニ輸

入シテ居ル、大藏省ノ所管デアアルカラ此ノ法案ノ計畫中ニハナイガ、今後安定本部ト商工省ト大藏省ト十分連絡ヲシテアル、其ノ他ニ付テハ輸入ヲ考ヘテ居ル、尙日本ノ自給鹽ハ非常ニ少ク、且茲十年位ハ電力、石炭ノ價格ガ下ガルトハ思ハレヌカラ、「コスト」高ニナリ、「ソーダ」工業ナドハ安イ輸入鹽ニドウシテモ依ラナケレバナラス、極力輸入シテ行キタイト思ツテ居ル、加里鹽、硼酸、硼砂、石棉、雲母、「ダイヤモンド」サント「ダイヤモンド・ダイス」、「ヴァナヂウム」、又石鹼不足ヲ解決スル「コブラ」等ハ輸入ニ俟ツモノハ既ニ懇請中ノモノモアリマスト云フ返答デアリマシタ、「リヤカー」、「自轉車」、「トラック」ノ不足ハ、中小工業ノ振興ヲ阻止シテ居ルヤウニ思フ、其ノ生産狀況ハドウカト云フ間ニ對シマシテ、自轉車ハ月産五千臺、「リヤカー」ハ七百乃至八百臺、年一萬五千臺ヲ目標トシテ居ル、「トラック」ハ月産千四百臺、配給ハ運輸省ニ任セテアル、八月ニハ郵便、水道、配電關係ニ自轉車ヲ、又「リヤカー」ハ農業、中小工業方面ニ向ケタト云フコトデアリマス、更ニ一委員ヨリ、總動員法ニモ違反者ガ多カッタガ、本案ノ違反者モ恐ラク多イデアラウ、又其ノ違反者

ガ再建經濟ヲ擔ツテ居ル中小工業者デアルト思ハレルガ、之ニ對スル對策如何、之ニ對シマシテ、重イ罰則ヲ規定シテアルガ、業者ノ意思ニ依ル統制ヲ趣旨トスル故ニ徒ニ罰則ヲ適用スルノデハナク、納得ノ出來ル行動ヲ執レバ宜イノデ、總動員法ノヤウニ無理ニ統制シテ行クト云フノトハ違ツテ居ルトノコトデアリマス、又一委員ハ、看板ダケ塗り替ヘタバカリデ、内容ハ統制會社ト全ク同一ノ配給會社デアラガドウ云フコトカト云フコトニ對シマシテ、商工大臣ハ統制會社ノ解散デ戰時中ノ統制ハ委ヲ沒シタ、併シ人ガ居ラヌ爲、又ハ急變デハ困ル爲ニ内容ノ全ク同ジモノガ存在シテ居ル、漸次民主的ニナツテ行クト思フガ、今後監察課デ十分其ノ内容ヲ監視シテ行クトニスルトノコトデアリマス、増産ニハ精神的部面ガ重要デアアルガ、尙文化部面ノ紙、「ラデオ」ノ配給ヲ良クシナクテハナラヌト思フ、之ニ對シ商工大臣ハ、戰爭中ノ情報局ガナクナツタノデ新聞、映畫ガ自由ニナツテ居ル、之ヲ總メルノハ今出來ルコトデハナイ、紙ハ紙業課ニ、「ラデオ」ハ逓信省ニ配給統制ヲヤラセテ居ル、文化國家トシテ立ツ爲ニハ内閣デ綜合的ニ決メテ貰フノガ宜イト考ヘテ、

内閣ニ文化委員會ナドヲ作ルガ宜イト思ツテ居ルガ、之ヲ反動的ト見ラレ易イノデ、モウ少シ世相ガ安定シテカラヤリタイト思ツテ居ルトノコトデアリマス、其ノ他色々委員並ニ政府ノ間ニ質疑應答ガゴザイマシタガ、ソレ等ハ速記録ニ讓リマスカラ、御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、以上デ質疑終リ討論ニ入りマシタ處、一委員ハ、實行機關トシテノ商工省ノ善處ヲ望ミ、更ニ一委員ハ、物ヲ生産スル時ニ僅カナ鐵ガナイ爲ニ生産ガ完成シナイ、サウ云フ場合ガアルヤウニ、單ニ運用ハ法一本デハウマク行カナイ、十分ニ注意ヲ拂フコトヲ希望スル、衆議院修正ノ本法案ニ贊成ノ旨ヲ表サレマシタ、斯クテ採決ニ入り、異議ナク全會一致可決スベキモノナリト決定致シマシタ、以上ヲ以テ御報告ヲ終リマス

○議長(公爵徳川家正君) 別ニ御發言モナケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クトニ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家正君) 御異議ナシト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家正君) 御異議ナシト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵梅園篤彦君 贊成

○議長(公爵徳川家正君) 西大路子爵ノ勸議ニ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家正君) 御異議ナト認メマス

○議長(公爵徳川家正君) 本案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス、本案全部委員長ノ報告通リテ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家正君) 御異議ナト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○議長(公爵徳川家正君) 西大路子爵ノ勸議ニ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家正君) 御異議ナト認メマス

○議長(公爵徳川家正君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部第二讀會ノ決議通リテ御異議ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家正君) 御異議ナト認メマス

○議長(公爵徳川家正君) 日程第十四ヨリ日程第二十六迄ノ請願、會議

意見書案  
木曾川改修並補助金増額ニ關スル件

岐阜市稻葉郡用排水普通水理組合管理用川出久一外九十四名呈出

右ノ請願ハ木曾川並其ノ支流川ハ戰時ニ於ケル上流山林ノ濫伐ト沿岸山野ノ開墾等ニ因リ一朝洪水ニ際會スレハ忽チ氾濫破堤ノ危險甚シキニ依リ速ニ事業費ヲ増額シテ改修工事ニ著手シ以テ治水ノ完壁ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日  
貴族院議長 公爵徳川家正  
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

私立學校ノ戰災復興ニ對スル國庫補助ノ件

東京都杉並區下井草町百二十五番地教員武内貞義呈出  
右ノ請願ハ戰災ニ依リ焼失セル各種

私立學校ハ物價騰貴ノ爲自力復興ハ固ヨリ教職員ノ給與ニモ困難ヲ感スル實情ナルヲ以テ國庫ヨリ復興費ニ對スル補助ヲ行フト共ニ資金ノ貸付及特殊預金、封鎖預貯金ノ引出手續簡易化等ニ對シ特別ノ措置ヲ講セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日  
貴族院議長 公爵徳川家正  
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

北海道後志山麓及道南地方ニ省營自動車運輸開始ノ件

北海道磯谷郡南尻別村長小林榮三郎外五名呈出

右ノ請願ハ北海道後志山麓及道南地方ノ各村ハ豊富ナル農、林、漁產資源ヲ藏スルニ拘ラス交通不便ノ爲其ノ開發ヲ見ル能ハサルハ洵ニ遺憾ナルニ依リ速ニ省營自動車ノ運輸ヲ開始シ以テ食糧事情ノ打開ニ資スルト共ニ地方ノ振興ニ寄與セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

意見書案

青森縣野邊地河口改修ニ關スル件

青森縣上北郡野邊地町長代理助役中村龜四郎呈出  
右ノ請願ハ青森縣野邊地町ハ本州ト北海道トノ連絡上樞要ノ地點ナルニ依リ町ノ自力ヲ以テ野邊地河口ニ港

昭和二十一年 月 日  
貴族院議長 公爵徳川家正  
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案  
茨城縣日立漁港修築ノ件

茨城縣日立市長高嶋秀吉外一名呈出

右ノ請願ハ茨城縣日立市ハ戰禍ト終戦後ノ各種重工業ノ崩壊ニ因リ市勢次第ニ衰退シ之カ打開策トシテハ地勢上漁業ニ依存スル外ナキ實情ナルニ依リ速ニ日立港ヲ修築シテ漁港設備ヲ充實シ以テ同市ノ復興ニ寄與セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

意見書案

千葉縣夷隅郡古澤村ニ無集配郵便局設置ノ件

千葉縣夷隅郡古澤村公吏北根吉作外九名呈出

右ノ請願ハ千葉縣夷隅郡古澤村ハ同地方ノ中心地ニシテ郵便局ト緊密ナル連絡ヲ要スルニ拘ラス所管ノ大東郵便局ハ四軒餘ヲ距タル爲村民ノ勞力時間ノ徒費大ナルモノアルニ依リ速ニ同村字桑田ニ無集配郵便局ヲ設置シ以テ生産能率ノ向上ト村民ノ便益ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

意見書案

青森縣野邊地河口改修ニ關スル件

青森縣上北郡野邊地町長代理助役中村龜四郎呈出  
右ノ請願ハ青森縣野邊地町ハ本州ト北海道トノ連絡上樞要ノ地點ナルニ依リ町ノ自力ヲ以テ野邊地河口ニ港

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家正  
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

讀書施設ノ普及ニ關スル件

東京郡世田谷區玉川奥澤町三丁目二百四十一番地官吏中田邦造外六百五十名呈出

滋賀縣大津市中堀町四番地ノ三平民の屋勝外六十三名呈出

右ノ請願ハ國民道義ノ確立ト基礎教養ノ向上ヲ圖ルハ民主主義日本建設ノ根幹ニシテ讀書ハ其ノ永續の捷徑ナルニ依リ速ニ圖書館法規ヲ改正シテ都道府縣市町村ニ各種ノ讀書施設ヲ普及シ其ノ中心トナルヘキ圖書館ヲ法律ヲ以テ設置シ社會教育ノ振興ニ寄與セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家正  
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

東北海道縦貫鐵道速成ノ件

北海道帶廣市西二條南五丁目一番地味噌醬油醸造業宮本富次郎呈出

右ノ請願ハ日高線様似、廣尾線廣尾ノ兩驛間並立軌線十勝三股、石北線上川ノ兩驛間ニ鐵道ヲ敷設スルハ東北海道縦貫鐵道ノ完成トナリ廣尾港ト相俟テ沿線地方ニ於ケル豐富ナル林、農、水、礦產資源ノ開發ニ寄與スルコト甚大ナルニ依リ速ニ同鐵道ヲ實現シ以テ食糧問題、人口問題ノ解決ニ資スルト共ニ道東地區ノ經濟及文化ノ進展ニ貢獻セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家正  
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

北海道廣尾港修築ノ件

北海道廣尾郡廣尾村字西通七丁目農業高橋武松呈出

右ノ請願ハ廣尾港ハ太平洋ニ面セル唯一ノ不凍港ニシテ世界三大漁田ノ漁業根據地並北方航路ノ安全避難港トシテ重大ナル使命ヲ有スルノミナラス東北海道ニ於ケル豐富ナル林、農、畜、水産物ノ運輸上最適ノ良港ナルニ依リ速ニ築港ヲ完成シテ一大商漁港タラシメ以テ東北海道ノ拓殖開發ニ寄與セラレタシトノ旨趣ニシ

テ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家正  
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

奥羽本線新庄驛、最上郡大藏村清水間ニ鐵道敷設ノ件

山形縣最上郡新庄町上仲町公吏橋岡徹呈出

右ノ請願ハ奥羽本線新庄驛、山形縣最上郡大藏村清水間ニ鐵道ヲ敷設スルハ沿線ニ於ケル豐富ナル農、林產資源ノ開發上貢獻スル所大ナルニ依リ速ニ之ヲ實現フ圖リ以テ食糧及燃料問題ノ解決ニ資セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家正  
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

高松經濟專門學校ノ大學昇格ニ關スル件

香川縣仲多度郡善通寺町大字善通寺六百四十八番地公吏松浦慎吾呈出

右ノ請願ハ四國四縣ノ學徒ニシテ大學入學ヲ志ス者極メテ多キニ拘ラス同地方ニ一ノ大學ヲモ在置セサルハ洵ニ遺憾ナルニ依リ政府ハ速ニ高松經濟專門學校ヲ大學令ニ據ル商科大

學ニ昇格セシメ以テ四國全土ノ要望ニ副ハレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家正  
内閣總理大臣吉田茂殿

意見書案

在外個人財産ノ補償ニ關スル件

東京都芝區田村町一丁目三番地朝鮮關係債務整理事務所内無業總債價六郎外四名呈出

右ノ請願ハ外地引揚者ハ祖國再建ノ固キ決意ヲ以テ歸國セルモ再起ヲ圖ルヘキ地盤ナク就職モ意ノ如クナラサル爲今ヤ相次テ破滅ニ瀕スル實情ナルニ依リ政府ハ是等引揚者個人財産ノ損害ニ付テハ軍需補償關係ノモノト同一視スルコトナク適當ナル補償ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和二十一年 月 日

貴族院議長 公爵德川家正  
内閣總理大臣吉田茂殿

○議長（公爵徳川家正君） 是等ノ請願  
ハ請願委員長ノ報告通り採擇スルコト  
ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家正君） 御異議ナイ  
ト認メマス、本日ハ是ニテ散會致シ  
マス

午前十一時五分散會

定價 一部 七十錢

發行所

東京都牛込區市ヶ谷本村町  
印刷局  
電話 九段 五三一〇〇  
振替東京一九〇〇 圖書課